

日本骨髄バンクの現状(2003年7月末現在) 詳細は別添資料をご覧ください。

	6月	7月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,632	1,947	172,759	217,338
患者登録者数	145	170	2,196	14,656
骨髄移植例数	73	69	-	5,000

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 骨髄バンクを通じた移植が5000例に到達しました。

日本骨髄バンク(当財団)を介する非血縁者間骨髄移植件数が、1993年1月28日の移植第1例実施から累計で5000例に到達しました。7月に69件の骨髄採取があり、5000例に到達したものの、これまでに移植されなかったケースが2例あったため、8月1日に3件の移植が行われたことにより、移植数が5001例となりました。この実績は、国民の皆様のご理解ご支援があり、これまでにご登録いただいた20万人余りのドナー登録者、そして何より5000人余りの提供者の献身によるものと心から感謝申し上げます。

2 骨髄バンクを通じた移植が5000例に到達しました。

当財団を介する骨髄移植が5000例に到達したことを記念し、9月28日(日)午後1時30分より、早稲田大学大隈講堂において今年度の全国大会を開催します。

大会式典後のイベントでは、5000例の主役である提供ドナーの皆様、移植を受けられた患者の皆様をはじめ、これらの移植を支えていただいた方々からお話を伺います。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。また、皆様からのメッセージ・エピソードを募集しています。大会当日会場にて、発表、展示させていただくほか、次号の骨髄バンクニュースに掲載させていただく予定です。会場においても受け付けします。

お問合せ、申し込みは広報渉外部 E-mail: toroku-volun@jmdp.or.jp

電話: 03 - 5280 - 8111、FAX: 03 - 5280 - 0101

*なお、本大会におきまして、「調査研究としての対面」を行う予定です。最終的には9月20日(土)の当財団の常任理事会で決定されます。

3 骨髄バンクを通じた移植が5000例に到達しました。

骨髄移植5000例到達を記念して、当財団では記念リーフレットとグッズを作成いたしました。このリーフレットは日米骨髄バンクのドナー登録数を比較し、未だ不足している日本のドナー登録を示し目標の30万人を呼びかけています。A4サイズ3ツ折で天地を短くしたものです。グッズはチャンスのブルーナー氏のイラスト入りカット絆です。イベントや登録会などでご活用いただければ幸いです。

4 今年度から推進月間が10月に変更。登録会開催もお願いします。

これまで、国の定める「骨髄バンク推進月間」は、当財団設立月の12月に普及啓発を初めとした骨髄バンク推進のための強化月間として皆様にご協力いただいていたまいりましたが、本年度より10月を本月間とする旨の通達が、厚生労働省から各地方行政等へ8月8日付けで発出されました。この10月を中心として全国各地で登録会を積極的に開催されますようご協力をお願いいたします。

5 厚生労働大臣へ、保険適用と補助金増額等の陳情が行われました。

8月7日午前中に、骨髄バンク議員連盟(会長:野田聖子衆議院議員)、そして午後には、公明党女性委員会(会長:浜四津敏子参議院議員)と骨髄バンク・さい帯血バンクの支援ボランティア有志の方々から坂口力厚生労働大臣に対し、「医療保険適用、国庫補助金増額、造血幹細胞移植推進法の制定」等についての陳情が行われました。この席には当財団、さい帯血ネットワーク代表も同席陳情しました。坂口大臣からは、大変積極的に前向きな返答がありました。是非とも、来春には医療保険が適用されますよう、今後とも積極的な運動を行います。関係各方面のみなさまのご理解ご支援をお願い申し上げます。

6 7月のドナー登録状況報告、登録取消者の増加で実登録数は3桁に。

7月のドナー登録者数は1947人、取消者数は967人、実質増加数は980人で前年同月の登録者数の120%という実績でした。登録会は85回実施され(うち献血併行型80回)、合計918人の方にご登録をいただきました。福島、東京では15回の登録会が開催され、それぞれ135人、228人の登録者があった他、神奈川の2回の登録会では111人が、新潟では9回の登録会で111人、富山でも着実に回数をこなし8回の開催で41人、沖縄では6回の開催で117人の登録者を得ました。7月のバンクニュース発送に伴うドナー登録取消のためか、登録取消者が通常の月より増加したため実質増加が1000人を割り込む残念な結果となりました。

7 7月のドナー登録状況報告、登録取消者の増加で実登録数は3桁に。

2003年10月1日より、全米骨髄バンク(National Marrow Donor Program = NMDP)の患者負担金が改定されます。2003年10月1日以降にNMDPにおいて実施されるコーディネートについて新料金が適用されます。料金表は当財団ホームページに近日中に公開します。

8 骨髄ドナーの健康被害発生について

8月中旬、日本骨髄バンクを介した骨髄採取ドナーに重大な健康被害が発生しました。ドナーの方は関東地区在住の30歳代男性で、術前健康診断では健康上問題はありませんでした。しかし、提供直後、血中酸素飽和度低下を起こしたため、肺CTスキャンなどの検査により肺の脂肪塞栓症が疑われました。そのため酸素吸入、ステロイドホルモンによる治療が行われ、ドナーの方は翌日には

呼吸状態が改善しておられます。こうした事例は世界で10万件を超える骨髄採取で1件の報告があるだけで、極めてまれです。なお、骨髄採取完了後のことでしたので、患者さんには骨髄が届き無事に移植が行われました。

当財団では、各認定施設に対し緊急安全情報を配信しましたが、今後もドナー安全に関して万全を尽していく所存です。本事例が過誤等であるかについては、調査後にご報告いたします。

9 調整医師および認定施設連絡責任医師会議の開催について

日本血液学会と日本臨床血液学会総会に併せ、8月31日(日)12時~12時50分、大阪国際会議場(大阪市北区)10階1009号室において、調整医師および認定施設連絡責任医師会議を開催いたします。内容は財団の各委員会報告と事務局からの報告の予定です。

10 関連イベントなど芸能界からのご協力をいただいています。

1.「永遠の夏目雅子」展が9月11日~17日、東京渋谷の東急百貨店本店7階特設会場(入場料600円)で開催されます。会場には骨髄バンクコーナーも設けられる予定です。(主催:同展実行委員会)

2.大泉逸郎さんのチャリティーコンサートが今年も9月4日、浅草公会堂で開催されます。

3.ロングランの舞台「友情」秋の公演は9月24日水戸市民会館で、9月26日~30日まで東京天王洲アイル・アーツフィアで、10月1日横浜市民文化会館関内ホールで開催されます。チケットの申し込みお問合せは、愛のチャリティー劇場実行委員会:03-5427-1822までお願いします。

*株式会社ジー・エフのご協力により、このたび自動電話サービスで骨髄バンクの情報提供が開始されました。骨髄バンクへの協力呼びかけを自動電話が100万コールします。これは同社の社会貢献の一環として電話料金などが無償で行われます。ナレーションはガッツ石松さんにご協力いただきました。

11 財団各委員会など開催予定

各委員会、常任理事会の傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局までお申込みください。

	公開・非公開	開催予定
普及広報委員会	公開	9/ 2(火)18:00~21:00(廣瀬第2ビル3階会議室)
医療委員会	公開	9/13(土)13:00~16:00(廣瀬第2ビル3階会議室)
常任理事会	公開	9/20(土)10:00~12:00(廣瀬第2ビル3階会議室)
ドナー安全委員会	非公開	9/20(土)13:30~16:30(廣瀬第2ビル3階会議室)

国の主催する造血細胞移植委員会(審議会)は9/5(金)15:00~17:00厚生労働省5階共用会議室で開催されます。(公開)